

学生による授業評価アンケート (前期及び後期) 結果報告書

2018 年度



神戸山手大学 現代社会学部
FD 委員会

目 次

第 1 章	学生の学習状況の把握	3
第 2 章	2018 年度 学生による授業評価アンケート	
	第 1 節 前期アンケート結果	4
	第 2 節 後期アンケート結果	12

第1章 学生の学習状況の把握

1. 授業評価アンケートなどの活用

教育目的の達成状況の点検・評価方法の工夫としての学生の学習状況の把握は、主にFD活動の一環として展開している、学生による前期及び後期授業評価アンケートを各期末に全科目を対象に実施している。それを活用し授業内容・授業方法の見直しと今後の改善資料となるようにしてきた。「前期・後期授業評価アンケート」では、特に自由記述欄を設けているため、数字だけでは測ることのできない学生の直接的な意見を聞くことができ、授業改善に活用している。後期にはアンケートの質問項目を見直し、前半に学生自身の学習状況を問う質問をおき、後半に従来の授業評価の質問項目をおいた。

授業評価アンケートの回答を分析した資料は、「第2章 2018年度 学生による授業評価アンケート」である。

2018年度前期の「この授業で新たな知識や技能、考え方などを身につけることができる」については、「そう思う」「どちらかというと思う」の回答率の合計が90.4%であった。同様に「この授業を受講して満足している」については、「そう思う」「どちらかというと思う」の回答率の合計が89.2%であり、おおむね高い結果が得られた。

2018年度後期の「この授業で新たな知識や技能、考え方などを身につけることができる」については、「そう思う」「どちらかというと思う」の回答率の合計が90.3%であった。同様に「この授業を受講して満足している」については、「そう思う」「どちらかというと思う」の回答率の合計が89.3%であり、後期も前期同様おおむね高い結果が得られた。また、授業以外での学習時間の項目で2時間以上との回答の比率が後期には高くなっていた。

本学の学生は、「一般学生(高校を卒業後すぐあるいは1,2年浪人して入学してくる学生)」と「留学生」と「シニア学生(年齢が50歳以上の学生)」の3つに分類することができる。その学生区分別に授業の満足度をみると最も高いのは「留学生」で、次に「シニア学生」、「一般学生」と続いている。3つのグループすべての学生が同じ授業を受講していることを考えれば、学生の学びの意欲が授業の満足度に大きな影響を与えたと考えられる。

今後は「一般学生」の学びの意欲を高めていくことが課題である。

2. 個々の学生の学習状況の把握

個別の学生の学習状況の把握は、各ゼミ担当教員が把握し、個別に指導している。授業の出欠については、学期の中間時期(5月と6月)に2回の欠席調査を行い、各科目の欠席状況に応じて各ゼミ担当教員が、連続して欠席している学生に指導、相談、助言を行っている。

今年度後期から、質問項目を見直し、前半に個々の学生の学習状況を問う質問を設け、個々の学生の学習状況を把握するための資料としている。

第2章 2018年度 学生による授業評価アンケート

第1節 前期アンケート結果

1. 本調査の実施の概要と回答者の属性

本調査は神戸山手大学の前期開講科目全ての受講生を対象に以下の要領で実施した。

実施期間：2018年6月25日～2018年6月29日

(この期間に実施できなかった科目についてはその後の授業で実施)

回答方法：全科目において、授業時間最後にマークシート用紙を配付して実施した。

回収率（のべ履修登録者数 7,081 人に対して 4,908 人が回答）：69.3%

回答者の属性：下表のとおり

①学科・学年別回収数

総合社会学科	1年生	1,153
	2年生	501
	3年生	492
	4年生	109
観光文化学科	1年生	1,263
	2年生	585
	3年生	549
	4年生	191
都市交流学科	4年生	11

②区分別回収数

一般学生	2,547
留学生	1,974
シニア・社会人学生	254

※所属にマークしていない回答があるので、合計は回収総数（4,908）と合致しない。

2. 質問項目

本調査の授業改善のための評価アンケート質問項目は以下の10項目である。

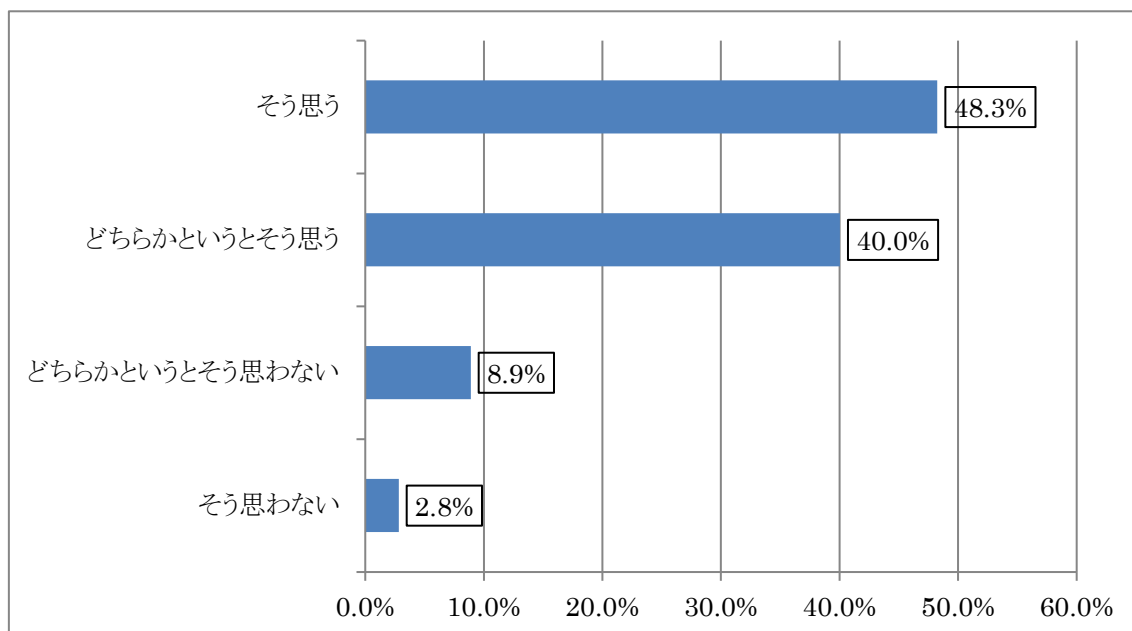
- (1)この授業に積極的に取り組んでいる。
- (2)この授業のために授業時間以外に行っている学習時間は？（授業1回あたり）
- (3)この授業を受けるうえで、シラバス（「学生便覧」の講義内容）は役に立っている。
- (4)教員の説明は、聞き取りやすい（声の大きさやスピードなど）。
- (5)教員は、私語をする学生に指導するなど、学習しやすい環境を保つ努力をしている。
- (6)テキストやプリント、映像などが適切に活用されている。
- (7)この授業の難易度は適切である。
- (8)この授業で新たな知識や技能、考え方などを身につけることができる。
- (9)この授業を受講して満足している。
- (10)工夫して欲しい点、感想などを自由に記入して下さい。

3. 授業評価アンケートの結果（前期）

※本報告は設問ごとに無回答を除いて合計を算出しているため、各設問によって合計数が異なる。

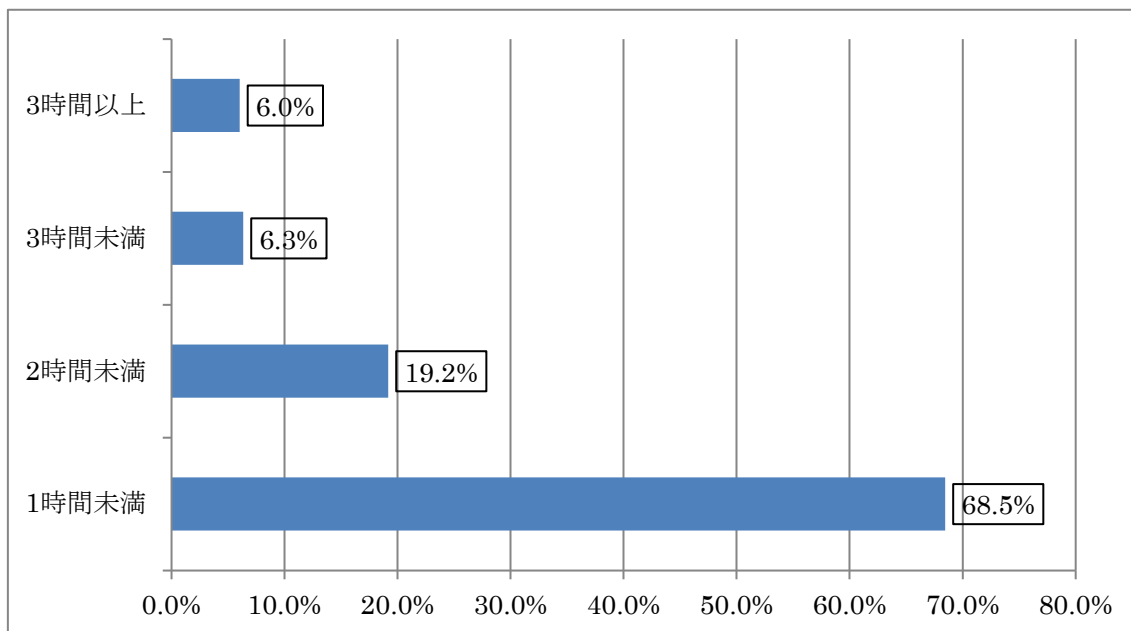
「この授業に積極的に取り組んでいる」は「そう思う」「どちらかというと思う」の回答の比率は88.3%になる。大部分の学生は積極的に取り組んだと考えられる。「どちらかというと思う」の回答の比率は11.7%であった。

(1) この授業に積極的に取り組んでいる。



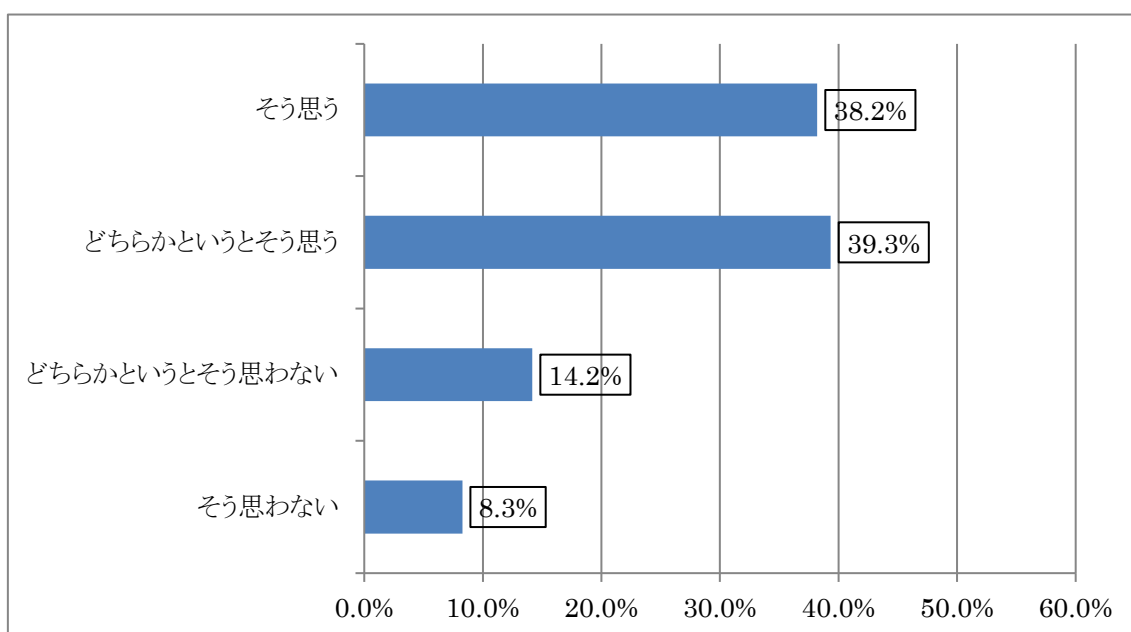
「授業以外の学習時間」は2時間以上という回答の比率は12.3%であった。大部分の学生が2時間未満で、予習・復習の時間が十分に取れていないことがうかがえる。

(2) この授業のために授業時間以外に行っている学習時間は？



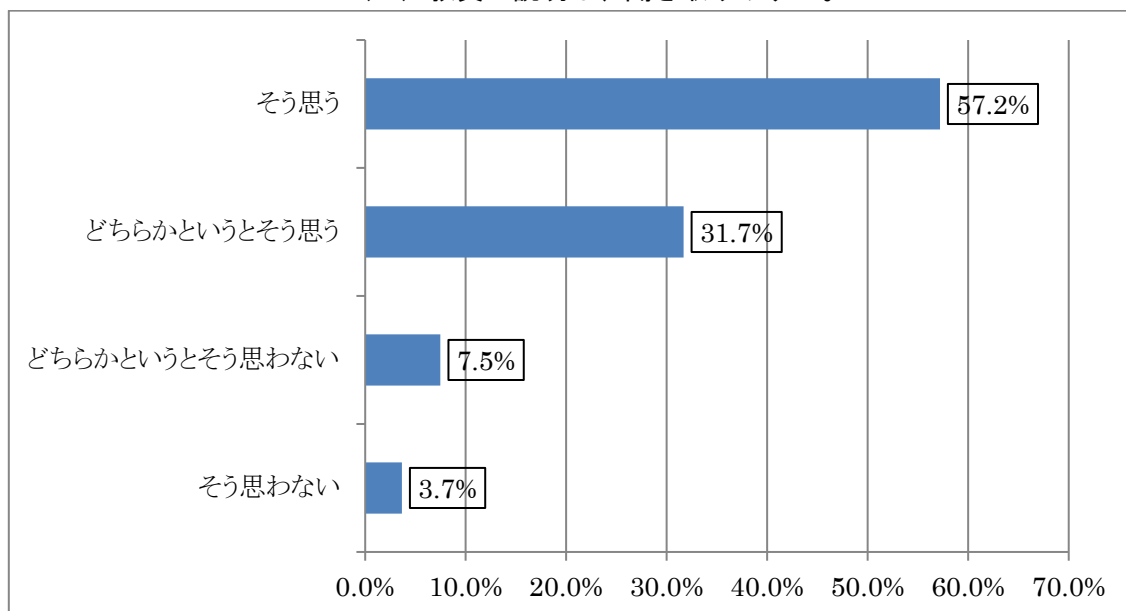
「この授業を受けるうえで、シラバスは役に立っている」は、「そう思う」「どちらかというところ思う」の回答の比率は77.5%になる。大部分の学生は役に立ったと考えている。「どちらかというところ思わない」「そう思わない」の回答の比率は22.5%であった。

(3) この授業を受けるうえで、シラバスは役に立っている。



「教員説明は聞き取りやすい」は、「そう思う」「どちらかというと思う」の回答の比率は 88.9%になる。大部分の学生は聞き取りやすかったと考えている。「どちらかというと思わない」「そう思わない」の回答の比率は 11.2%であった。

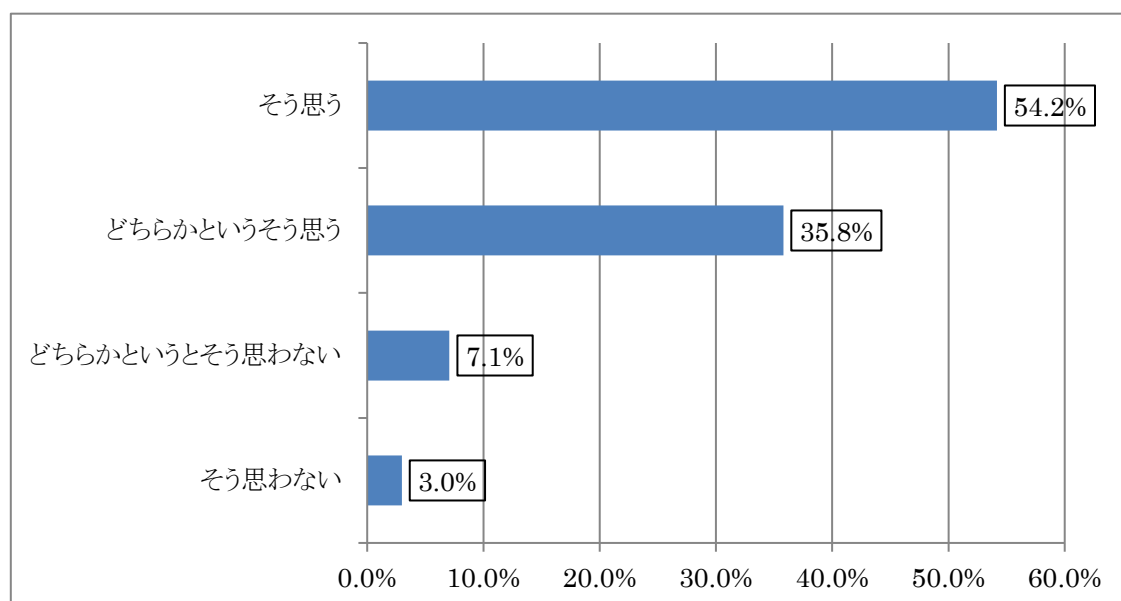
(4) 教員の説明は、聞き取りやすい。



※ 四捨五入の関係で合計は 100%にならない。

「教員は、私語をする学生に指導するなど、学習しやすい環境を保つ努力をしている」は、「そう思う」「どちらかというと思う」の回答の比率は 90.0%になる。「どちらかというと思わない」「そう思わない」の回答の比率は 10.1%であった。

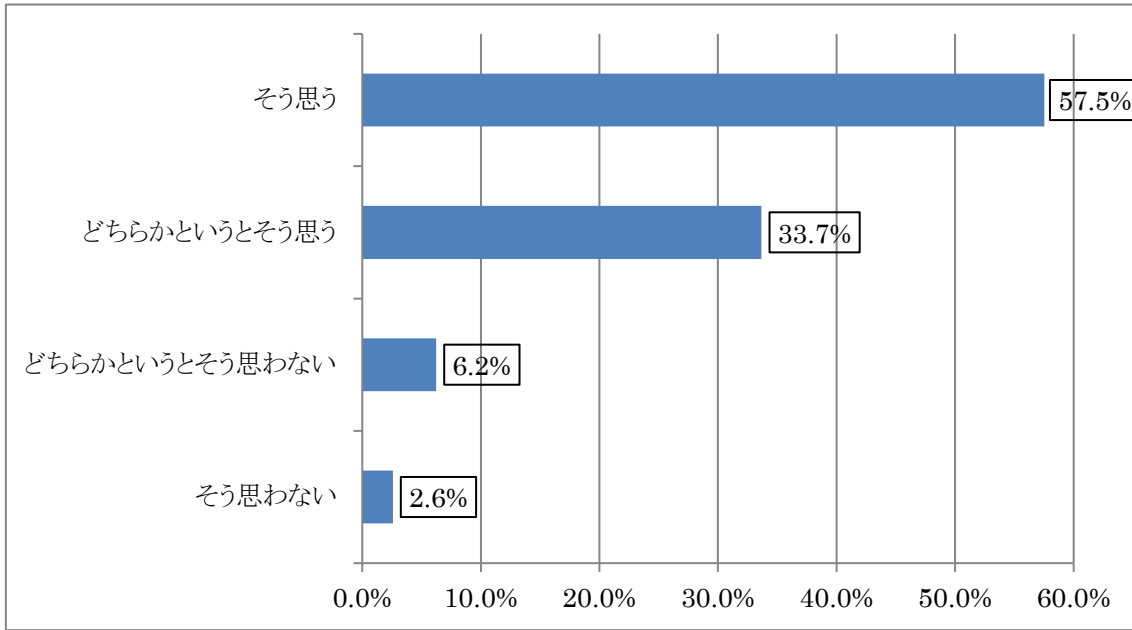
(5) 教員は、私語する学生に指導するなど、学習しやすい環境を保つ努力をしている。



※ 四捨五入の関係で合計は 100%にならない。

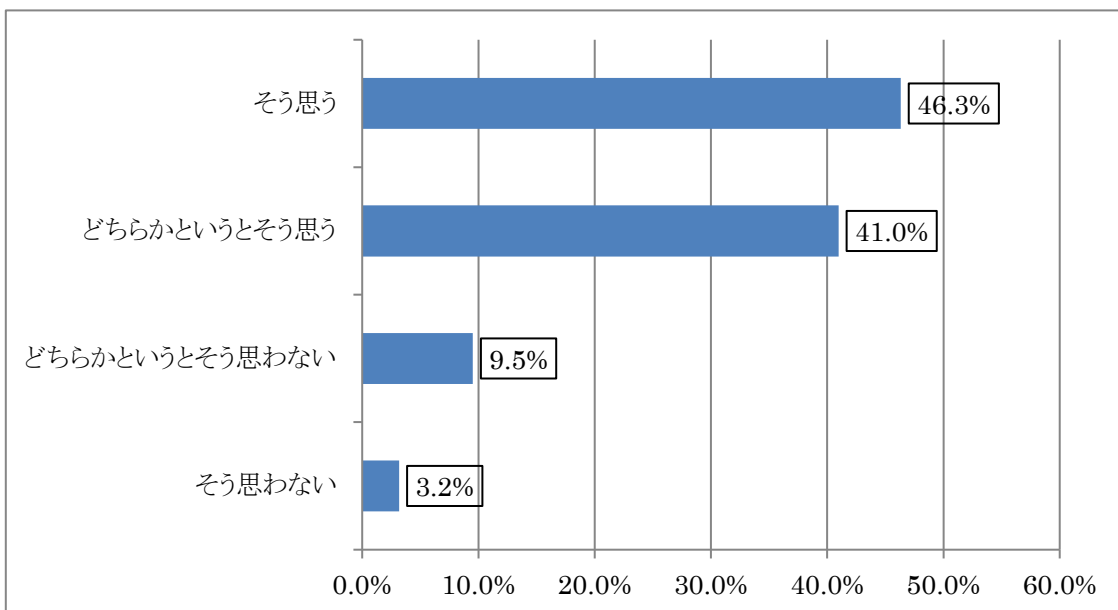
「テキストやプリント、映像などが適切に活用されている」は、「そう思う」「どちらかというと思う」の回答の比率は91.2%になる。「どちらかというと思わない」「そう思わない」の回答の比率は8.8%であった。

(6) テキストやプリント、映像などが適切に活用されている。



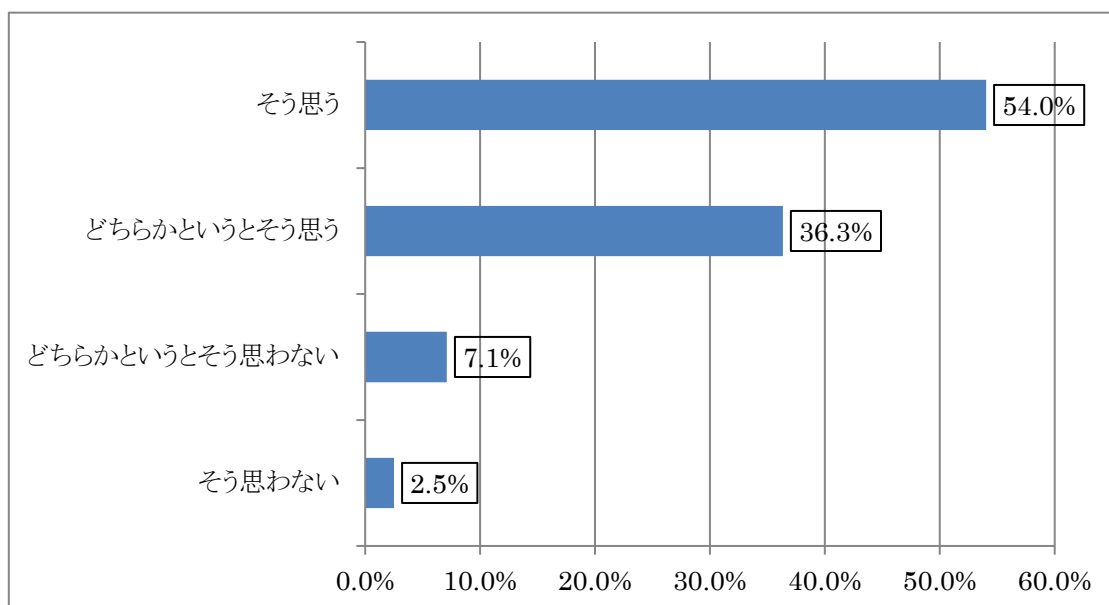
「この授業の難易度は適切である」は、「そう思う」「どちらかというと思う」の回答の比率は87.3%になる。「どちらかというと思わない」「そう思わない」の回答の比率は12.7%であった。

(7) この授業の難易度は適切である。



「この授業で新たな知識や技能、考え方などを身につけることができる」は、「そう思う」「どちらかというと思う」の回答の比率は90.3%になる。「どちらかというと思わない」「そう思わない」の回答の比率は9.6%であった。

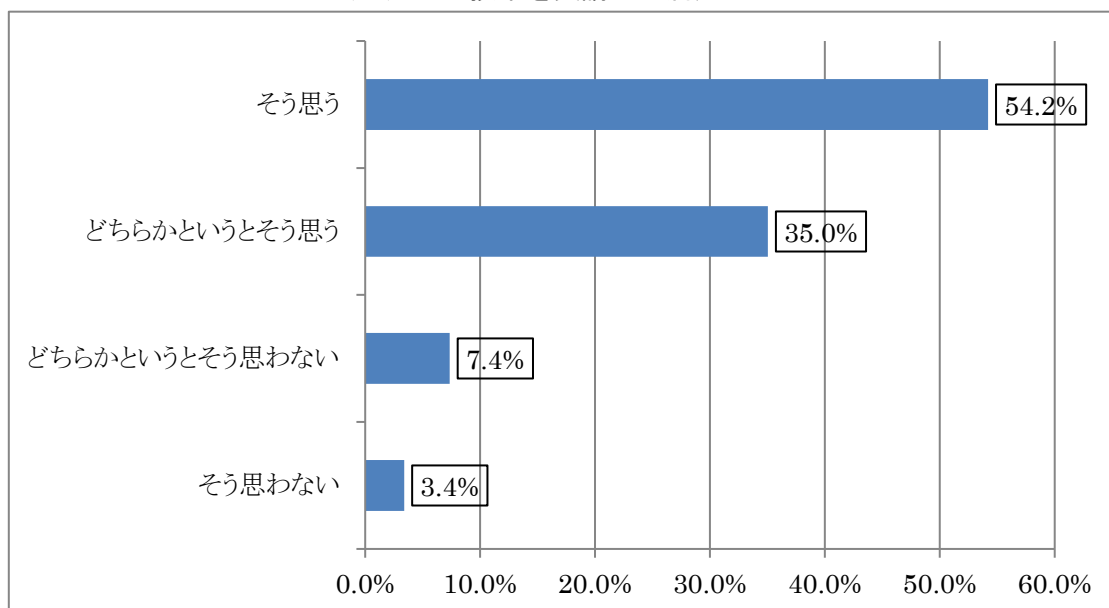
(8) この授業で新たな知識や技能、考え方などを身につけることができる。



※ 四捨五入の関係で合計は100%にならない。

「この授業を受講して満足している」は、「そう思う」「どちらかというと思う」の回答の比率は89.2%になる。大部分の学生は満足している。「どちらかというと思わない」「そう思わない」の回答の比率は10.7%であった。

(9) この授業を受講して満足している



※ 四捨五入の関係で合計は100%にならない。

4. 各質問項目と属性との関係（前期）

本学の学生は一般学生（高校を卒業後すぐあるいは1,2年浪人して入学してくる学生）と留学生とシニア学生（年齢が50歳以上の学生）の3つに分類することができる。その学生区分別に各質問との関係を見たのが、図表1-1 学生区分別の平均値の比較である。

平均値の計算方法であるが、回答番号①を1点、②を2点、③を3点、④を4点として質問項目ごとに平均値を算出している。その質問項目の得点が高いほど、役に立った、満足度が高い、よく理解しているなどの高い評価をうけていることを示している。

一般学生、留学生、シニア学生の比較（図表1-1参照）では、全ての質問項目で平均点が最も高いのは留学生で、次にシニア学生、一般学生となっている。

全項目で平均値が最も低かったのは、一般学生であった。問3における平均値が、一般学生、シニア学生において極端に低くなっている。シラバスがあまり役に立っていないということは、冊子体をやめWeb公開のみにしたため、あまり利用しなかったということかも知れない。3タイプの学生とも同じ授業を一緒に履修していることを考えると、各学生群の抱える事情や学びの意欲の高低などが授業の満足度をはじめ各項目の平均値に影響を与えたと考えられる。

本学は総合社会学科と観光文化学科の2学科があるので、学科別に分析を行なった。図表1-2は学科別・各学年別の平均値を計算した結果である。

総合社会学科は、1年次、2年次と高くなり、3年次で低くなり、全項目が4年次で最も高くなっている。3年次では、最も低くなっている項目が5項目ある。昨年は3年次が最も高くなっていたので、この学年の満足度は高いまま維持されていると思われる。

それに対して観光文化学科であるが、総合社会学科とは異なった傾向がある。全体的には1年次で最も低く、学年が上がるごとに平均値があがっているといえるが、项目的にはばらつきがある。5項目で4年次が最高となっているが、問2の学習時間に関しては1年次が最も高く、学年を追うごとに低くなっており、4年次が最低となっている。

図表1-1 平均値の比較 一般学生・シニア・留学生別結果【前期】

		問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9
一般学生	件数	2,524	2,516	2,532	2,529	2,543	2,540	2,540	2,538	2,539
	平均	3.17	1.24	2.79	3.30	3.30	3.37	3.18	3.28	3.26
シニア・社会人	件数	253	251	251	253	248	252	252	253	253
	平均	3.36	1.53	2.92	3.49	3.50	3.52	3.24	3.48	3.41
留学生	件数	1,950	1,917	1,967	1,960	1,958	1,967	1,961	1,969	1,972
	平均	3.55	1.83	3.47	3.58	3.54	3.58	3.48	3.60	3.59

※ 無回答があるため合計回答数は一致しない

図表 1-2 平均値の比較 学科・学年別結果【前期】

			問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	
総合	1年	件数	1,127	1,119	1,132	1,133	1,138	1,136	1,135	1,136	1,136	
		平均	3.32	1.35	3.01	3.38	3.37	3.46	3.30	3.40	3.35	
	2年	件数	495	488	496	494	496	495	494	496	497	
		平均	3.34	1.43	3.18	3.49	3.46	3.51	3.32	3.45	3.41	
	3年	件数	472	471	476	473	476	477	474	474	476	
		平均	3.23	1.55	3.05	3.44	3.37	3.43	3.21	3.38	3.37	
	4年	件数	109	109	109	109	107	109	109	109	108	109
		平均	3.49	1.83	3.31	3.67	3.64	3.61	3.50	3.57	3.61	
観光	1年	件数	1,250	1,234	1,254	1,248	1,249	1,253	1,255	1,257	1,257	
		平均	3.33	1.58	2.93	3.26	3.31	3.35	3.23	3.32	3.32	
	2年	件数	578	570	584	581	581	584	580	584	584	
		平均	3.40	1.56	3.16	3.52	3.51	3.51	3.43	3.52	3.48	
	3年	件数	539	536	546	546	546	548	549	548	548	
		平均	3.37	1.52	3.25	3.56	3.51	3.58	3.34	3.53	3.50	
	4年	件数	189	189	190	191	190	190	189	191	191	
		平均	3.42	1.50	3.25	3.71	3.63	3.56	3.39	3.52	3.62	
都市	4年	件数	11	11	10	11	11	11	11	11	11	
		平均	3.00	1.09	3.00	3.73	3.55	3.82	3.55	3.73	3.55	

※ 無回答があるため合計回答数は一致しない

第2節 2018年度 後期授業アンケート

1. 本調査の実施の概要と回答者の属性

本調査は神戸山手大学の前期開講科目全ての受講生を対象に以下の要領で実施した。

実施期間：2018年12月17日～2019年1月28日

回答方法：全科目において、授業時間最後にマークシート用紙を配付して実施した。

回収率（のべ履修登録者数 6,491 人に対して 3,896 人が回答）：60.0%

回答者の属性：下表のとおり

①学科・学年別回収数

総合社会学科	1年生	1,005
	2年生	399
	3年生	351
	4年生	60
	不明	92
観光文化学科	1年生	862
	2年生	415
	3年生	428
	4年生	54
	不明	113
都市交流学科	4年生	6

②区分別回収数

一般学生	1,808
留学生	1,548
シニア・社会人学生	168

※所属にマークしていない回答があるので、合計は回収総数（3,896）と合致しない。

2. 質問項目

今回からアンケート項目を変更し、前半に学生自身の学習状況を問う質問を設定し、後半に授業改善のための質問を設定した。それぞれの質問項目は以下のとおりである。

<自分自身の学習状況について>

- (1) この授業に積極的に取り組んだ。
- (2) この授業のために授業時間以外に行った学習時間は？（授業1回当たり）
- (3) この授業のために授業時間以外に行った学習内容は？（複数回答可）
- (4) この授業のために授業時間以外に行った学習は主にどこで行いましたか？

<授業について>

- (5) この授業を受けるうえで、シラバス（授業計画等）は役に立った。
- (6) 教員の説明は、聞き取りやすかった（声の大きさやスピードなど）。
- (7) 教員は、私語をする学生に指導するなど、学習しやすい環境を保つ努力をしていた。
- (8) テキストやプリント、映像などが適切に活用されていた。
- (9) この授業の難易度は適切であった。
- (10) この授業で新たな知識や技能、考え方などを身につけることができた。
- (11) この授業を受講して満足している。
- (12) 工夫してほしい点、感想などを裏面に自由に記入してください。

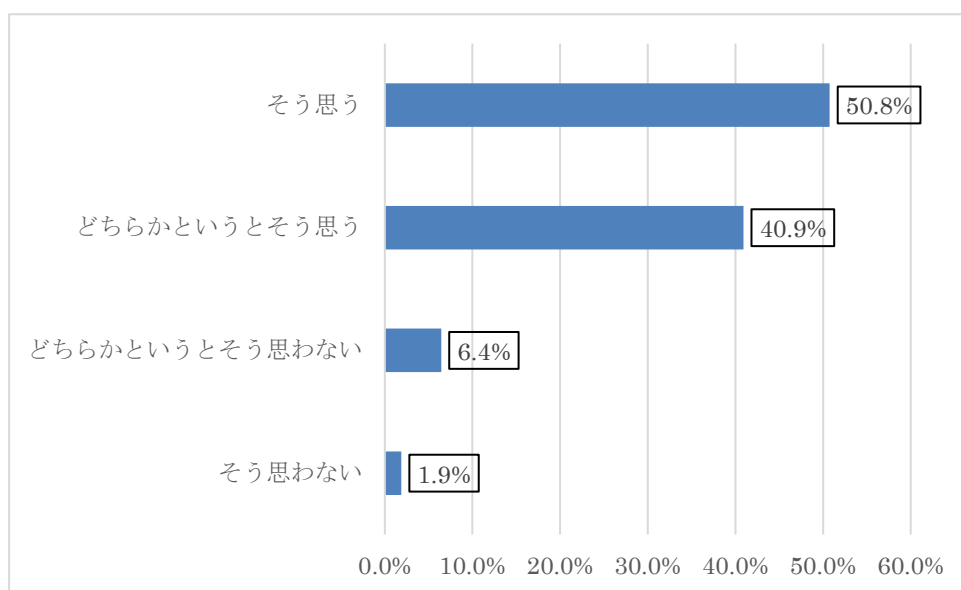
3. 授業アンケートの結果（後期）

※本報告は設問ごとに無回答を除いて合計を算出しているため、各設問によって合計数が異なる。

<自分自身の学習状況について>

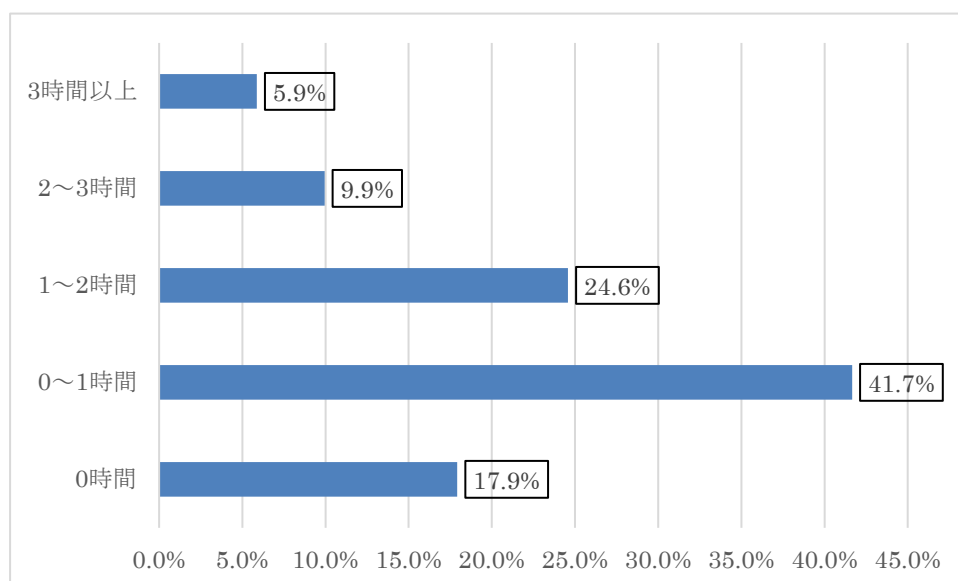
「この授業に積極的に取り組んだ」は「そう思う」「どちらかというと思う」の回答の比率は91.7%になる。大部分の学生は積極的に取り組んだと考えられる。「どちらかというと思う」「そう思わない」「そう思わない」の回答の比率は8.3%であった。

（1）この授業に積極的に取り組んだ。



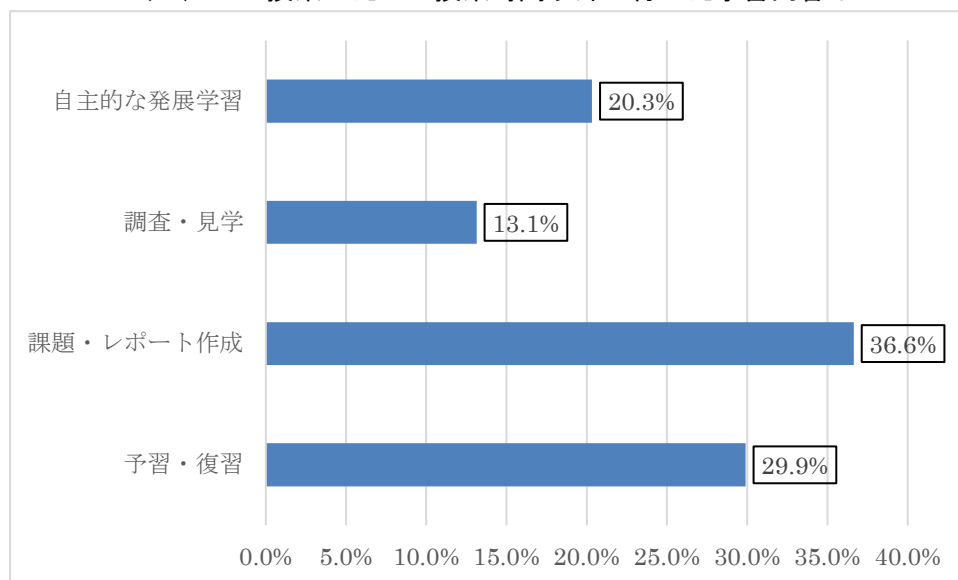
「授業以外の学習時間」は2時間以上という回答の比率は15.8%であった。前期から若干増えているが、まだ多くの学生が2時間未満で、まったく学習していない学生が17.9%もあり、予習・復習の時間も十分に取れていないことがうかがえる。

（2）この授業のために授業時間以外に行った学習時間



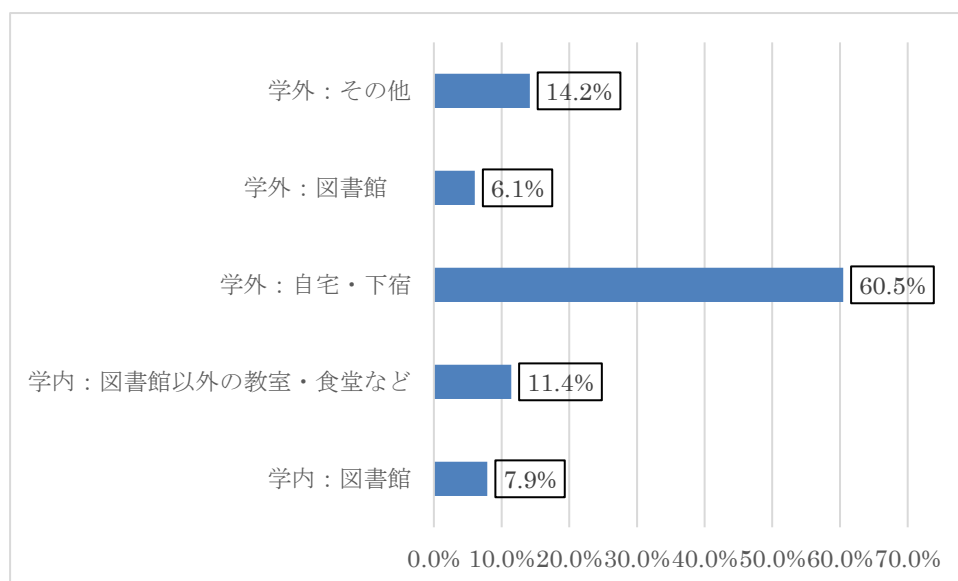
「この授業のために授業時間以外に行った学習内容は？」は、「予習・復習」「課題・ポート」が66.5%と大部分であるが、「自主的な発展学習」や「調査・見学」も33.4%あり、やる気のある学生は主体的に学習していることがうかがえる。

(3) この授業のために授業時間以外に行った学習内容は？



「この授業のために授業時間以外に行った学習は主にどこで行いましたか？」は、「自宅・下宿」が60.5%と大部分の学生は自宅で行っている。学内の図書館は7.9%とそれほど利用されていない。

(4) この授業のために授業時間以外に行った学習は主にどこで行いましたか？

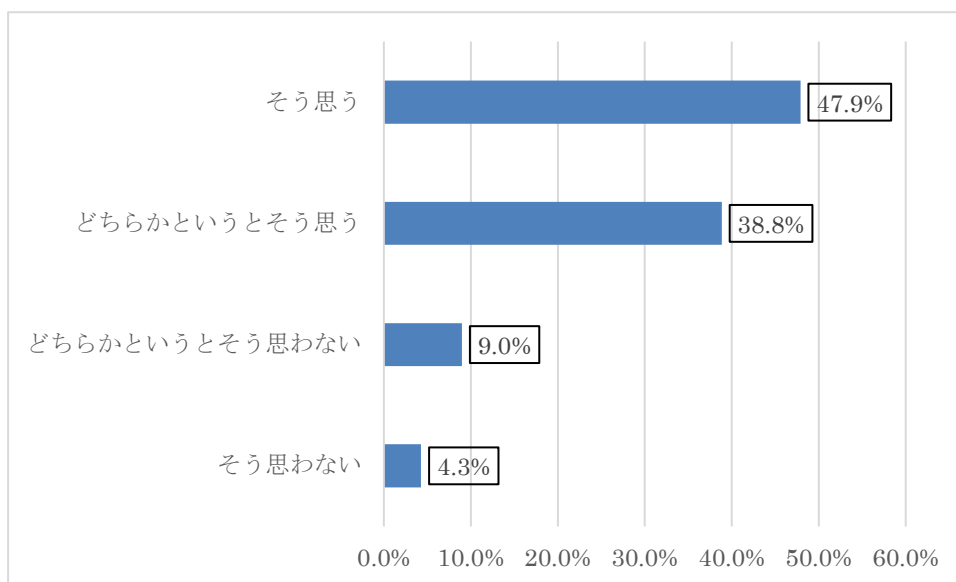


以上の4つの質問に関しては個々の学生ごとにデータを集計し、学習指導の参考資料としている

<授業について>

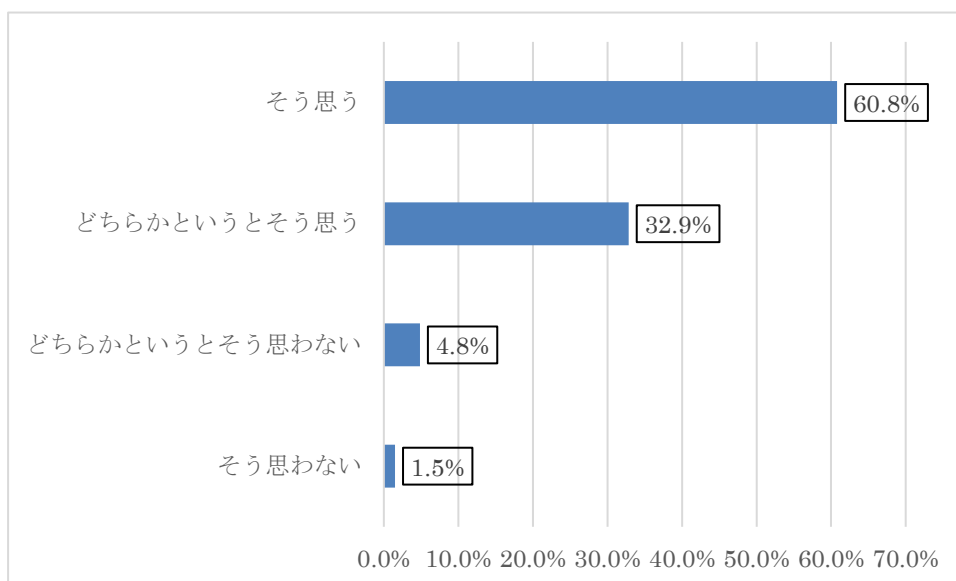
「この授業を受けるうえで、シラバス（授業計画等）は役に立った」は、「そう思う」「どちらかというと思う」の回答の比率は 86.7%になる。「どちらかというと思わない」「そう思わない」の回答の比率は 13.3%であった。

(5) この授業を受けるうえで、シラバス（授業計画等）は役に立った



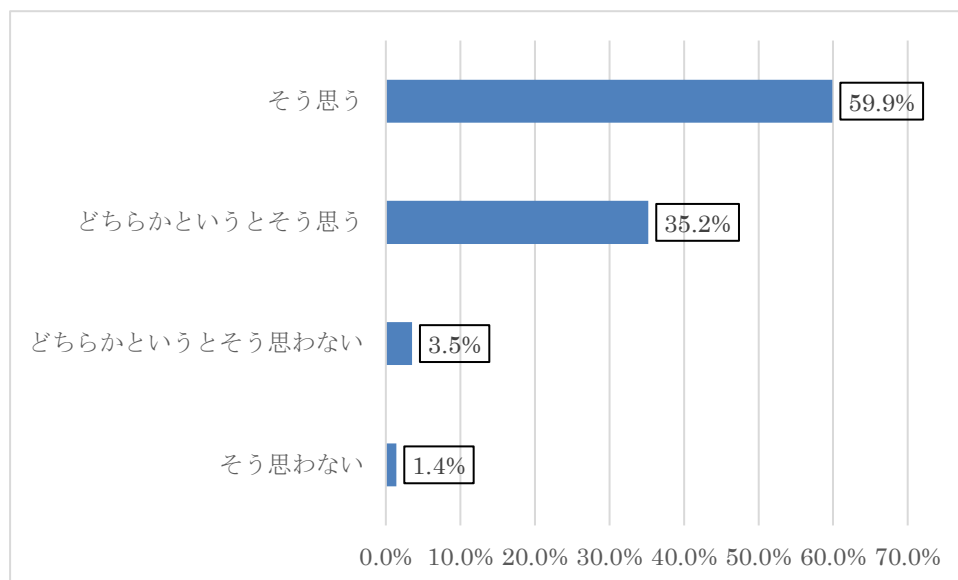
「テキストやプリント、映像などが適切に活用されていた」は、「そう思う」「どちらかというと思う」の回答の比率は 93.7%になる。「どちらかというと思わない」「そう思わない」の回答の比率は 6.3%であった。

(6) テキストやプリント、映像などが適切に活用されていた。



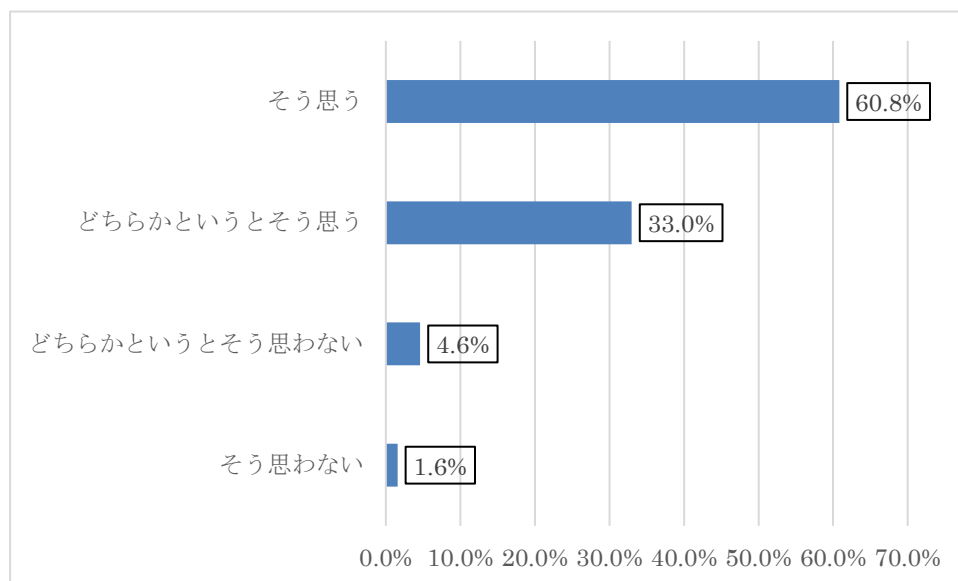
「教員は、私語をする学生に指導するなど、学習しやすい環境を保つ努力をしていた。」は、「そう思う」「どちらかというと思う」の回答の比率は95.1%になる。「どちらかというと思う」「そう思わない」の回答の比率は4.9%であった。

(7) 教員は、私語をする学生に指導するなど学習しやすい環境を保つ努力をしていた。



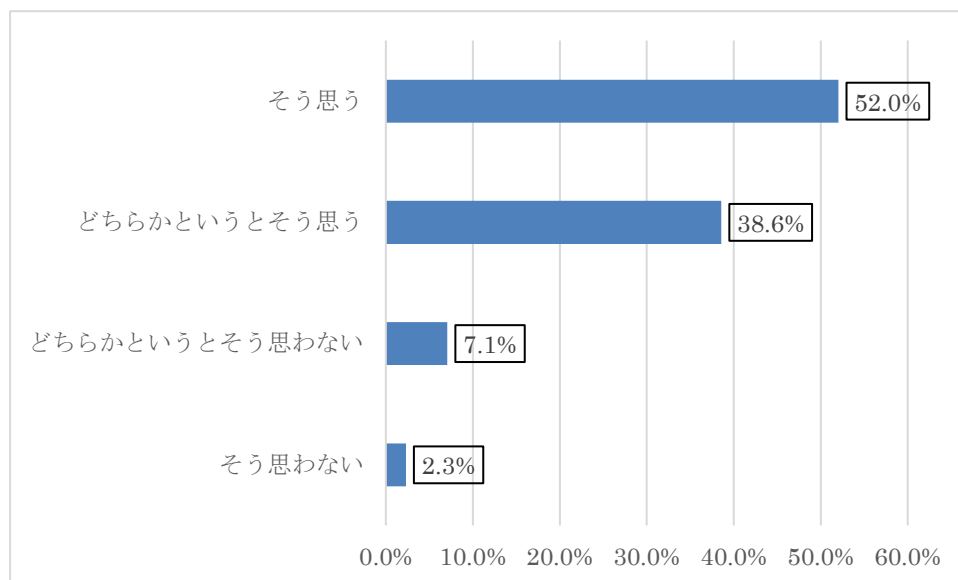
「テキストやプリント、映像などが適切に活用されていた。」は、「そう思う」「どちらかというと思う」の回答の比率は93.8%になる。「どちらかというと思わない」「そう思わない」の回答の比率は6.2%であった。

(8) テキストやプリント、映像などが適切に活用されていた。



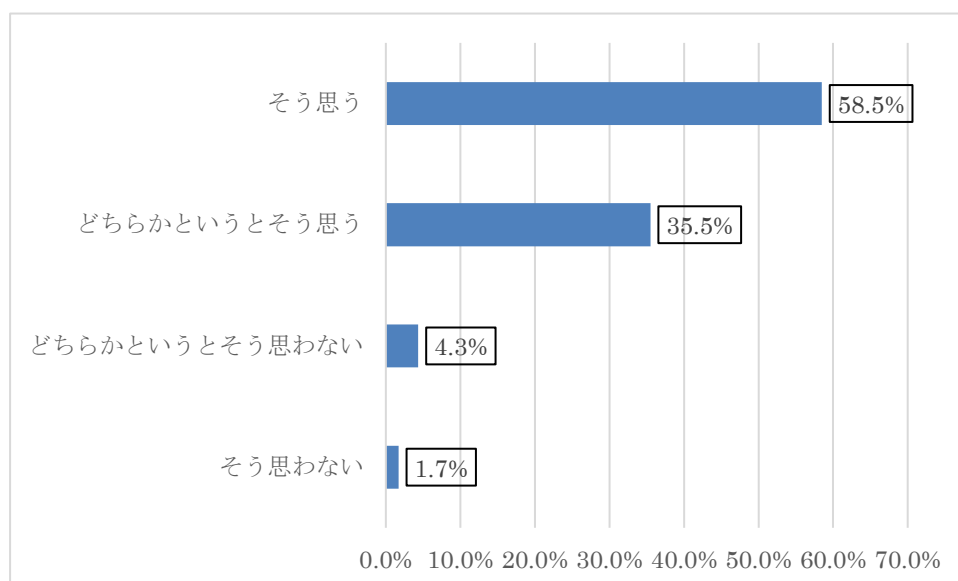
「この授業の難易度は適切であった。」は、「そう思う」「どちらかというと思う」の回答の比率は90.6%になる。大部分の学生は満足している。「どちらかというと思わない」「そう思わない」の回答の比率は9.4%であった。

(9) この授業の難易度は適切であった。



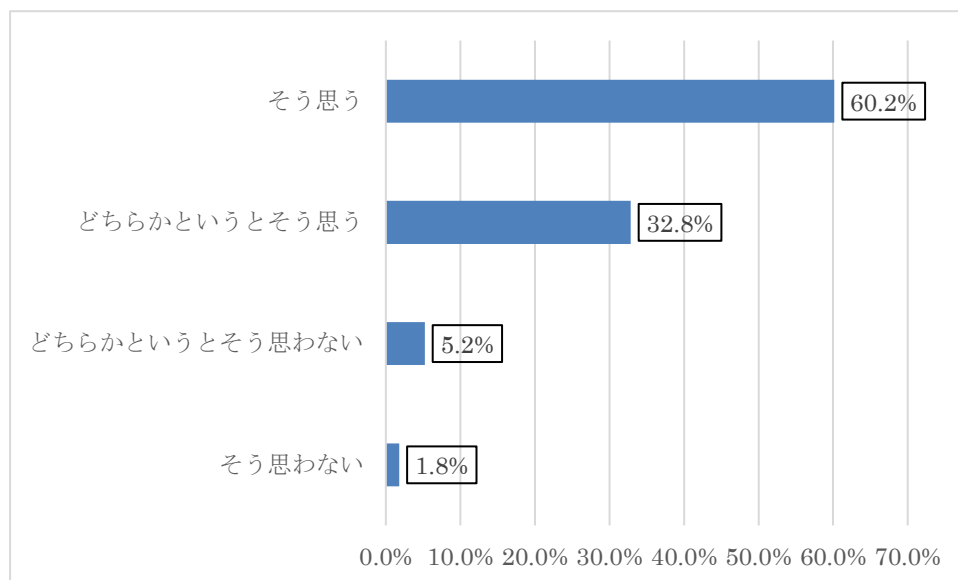
「この授業で新たな知識や技能、考え方などを身につけることができた。」は、「そう思う」「どちらかというと思う」の回答の比率は94.0%になる。大部分の学生は満足している。「どちらかというと思わない」「そう思わない」の回答の比率は6.0%であった。

(10) この授業で新たな知識や技能、考え方などを身につけることができた。



「この授業を受講して満足している。」は、「そう思う」「どちらかというと思う」の回答の比率は93.0%になる。大部分の学生は満足している。「どちらかというと思わない」「そう思わない」の回答の比率は7.0%であった。

(11) この授業を受講して満足している。



4. 各質問項目と属性との関係（後期）

前期同様、一般学生と留学生とシニア学生の学生区分別に各質問との関係を見たのが、図表 2-1 学生区分別の平均値の比較である。

平均値の計算方法も前期と同様で、質問項目の得点が高いほど、役に立った、満足度が高い、よく理解しているなどの高い評価をうけていることを示している。

一般学生、留学生、シニア学生の比較（図表 2-1 参照）では、全ての質問項目の平均点が高いのは留学生で、次にシニア学生、一般学生と続いている。

全ての項目で平均値が高いのは留学生の取組姿勢が熱心で他の区分の学生に比較して、多くの時間勉強していることを推測させる結果となった。

全項目で平均値が最も低かったのは、一般学生であった。3 タイプの学生とも同じ授業と一緒に履修していることを考えると、各学生群の抱える事情や学びの意欲の高低などが授業の満足度をはじめ各項目の平均値に影響を与えたと考えられる。

また前期と同様、学科別でも分析を行なった。図表 2-2 は学科別・各学年別の平均値を計算した結果である。

総合社会学科は、すべての項目で 4 年次が最も高くなっており、3 年次が最も低くなっている。昨年の分析では、2 年次が最も低い値が多かったことから、この学年については、総じて満足度が低くなっていることがうかがわれる。

それに対して観光文化学科であるが、総合社会学科とは異なった傾向がある。1 年次が最も低く、2, 3 年次はほぼ同じで、4 年次が全ての項目で平均値が高くなっており、一応学年が上がるにつれて満足度が高まっているようにみえる。

図表 2-1 平均値の比較 一般学生・シニア・留学生別結果【後期】

		問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11
一般学生	件数	1,807	1,804	1,798	1,805	1,795	1,806	1,806
	平均	3.07	3.41	3.40	3.43	3.25	3.37	3.38
シニア学生	件数	168	166	168	167	167	168	168
	平均	3.05	3.48	3.45	3.46	3.32	3.48	3.50
留学生	件数	1,902	1,896	1,889	1,890	1,898	1,898	1,902
	平均	3.53	3.61	3.61	3.58	3.50	3.61	3.62
合 計	件数	3,877	3,866	3,855	3,862	3,860	3,872	3,876
	平均	3.30	3.53	3.54	3.53	3.40	3.51	3.51

※ 無回答があるため合計回答数は一致しない

図表 2-2 平均値の比較 学科・学年別結果【後期】

		問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	
総合社会	1年生	件数	1,004	1,002	1,000	1,002	998	1,002	1,004
		平均	3.39	3.58	3.61	3.60	3.50	3.56	3.58
	2年生	件数	399	396	398	397	397	399	399
		平均	3.40	3.57	3.55	3.61	3.38	3.57	3.52
	3年生	件数	351	350	349	350	350	351	351
		平均	3.17	3.48	3.38	3.44	3.27	3.43	3.46
	4年生	件数	60	60	60	59	60	60	60
		平均	3.43	3.75	3.77	3.71	3.67	3.63	3.77
	合計※	件数	1,904	1,899	1,897	1,900	1,897	1,904	1,906
		平均	3.35	3.56	3.56	3.57	3.43	3.53	3.55
観光文化	1年生	件数	861	859	851	856	857	859	860
		平均	3.23	3.45	3.48	3.43	3.35	3.41	3.42
	2年生	件数	413	411	409	412	410	410	410
		平均	3.28	3.56	3.57	3.56	3.43	3.54	3.55
	3年生	件数	427	427	427	426	425	427	428
		平均	3.28	3.57	3.57	3.56	3.43	3.58	3.54
	4年生	件数	54	54	53	53	53	54	54
		平均	3.35	3.69	3.74	3.58	3.53	3.67	3.70
	合計※	件数	1,868	1,863	1,853	1,857	1,858	1,863	1,865
		平均	3.26	3.50	3.52	3.48	3.38	3.48	3.48
都市交流	4年生	件数	6	6	6	6	6	6	
	平均	3.00	3.33	3.17	3.50	3.33	3.17	3.50	
学部全体	1年生	件数	1,865	1,861	1,851	1,858	1,855	1,861	1,864
		平均	3.32	3.52	3.55	3.52	3.43	3.49	3.51
	2年生	件数	812	807	807	809	807	809	809
		平均	3.34	3.57	3.56	3.58	3.40	3.55	3.54
	3年生	件数	778	777	776	776	775	778	779
		平均	3.23	3.53	3.48	3.51	3.36	3.51	3.50
	4年生	件数	120	120	119	118	119	120	120
		平均	3.38	3.70	3.72	3.64	3.59	3.63	3.73
合計※	件数	3,877	3,866	3,855	3,862	3,860	3,872	3,876	
	平均	3.30	3.53	3.54	3.53	3.40	3.51	3.51	

※ 無回答があるため合計回答数は一致しない